

AARポータル（アップデート版） 教職員向けユーザーガイド

本マニュアルは、日々の業務（授業の計画・準備・振り返り）を行う際の流れに沿って、システムの操作手順をまとめたシナリオ別ガイドです。

【目次】利用シナリオ

シナリオ0：AARポータル（アップデート版）利用のための事前準備（学校管理者・教職員の代表者向け）

システムを使い始める前の「時間割の枠組み」設定と教科データの準備

シナリオ1：期間ごとの授業を計画する

時間割へ教科を配置し、翌週以降へコピーする

シナリオ2：授業の準備をする

日々の授業の順番の調整や、授業目標・資料の登録

シナリオ3：授業の振り返りを行う

日々の授業ごとの児童生徒の理解度確認とフィードバック

シナリオ4：単元の振り返りを行う

単元の終わりのまとめ、AI解説を活用した個別フィードバック

シナリオ0：AARポータル（アップデート版）利用のための事前準備

学校管理者 または 教職員の代表者向け

新年度が始まり、システムを使い始めるための最初のステップです。設定の重複や混乱を防ぐため、**学校管理者 または 代表の教職員**が、学校全体の時間割の「枠組み（時程表）」や必要な教科の初期データをまとめて準備する運用を推奨しています。

ステップ1：時程表（時間割の枠）を設定する

学校全体のベースとなる、1日の授業の回数や開始・終了時間を設定します。

※初期設定として、標準設定（1～6時限、45分または50分）が登録されています。

時程表の設定

各時限の開始時刻と授業時間(45分・50分など)を設定できます。

☐ 0時限目から始める

1	08:50	～ 09:35	45	分
2	09:45	～ 10:30	45	分
3	10:40	～ 11:25	45	分
4	11:35	～ 12:20	45	分
5	13:40	～ 14:25	45	分
6	14:35	～ 15:20	45	分
7	16:05	～ 16:50	45	分
8	17:00	～ 17:45	45	分
9	18:00	～ 18:45	45	分

－ 時限を減らす + 時限を追加する

※保存すると、この時程表が全クラスの時間割に適用されます。 この時程表を保存する

1. 学校管理者 または 代表の教職員がログインし、メニューの [設定] から [時程表設定] を開きます。
2. 朝活動などで「0時限目」が必要な場合はチェックを入れます。
3. 各時限の「開始時刻」と「授業時間（分）」を入力します。枠が足りない場合は [+ 時限を追加する] を押します。
4. [保存する] をクリックします。

※この設定は学校全体（全クラス）の時間割に一律で適用されます。

ステップ2：標準の教科を作成・確認する（プリセット処理）

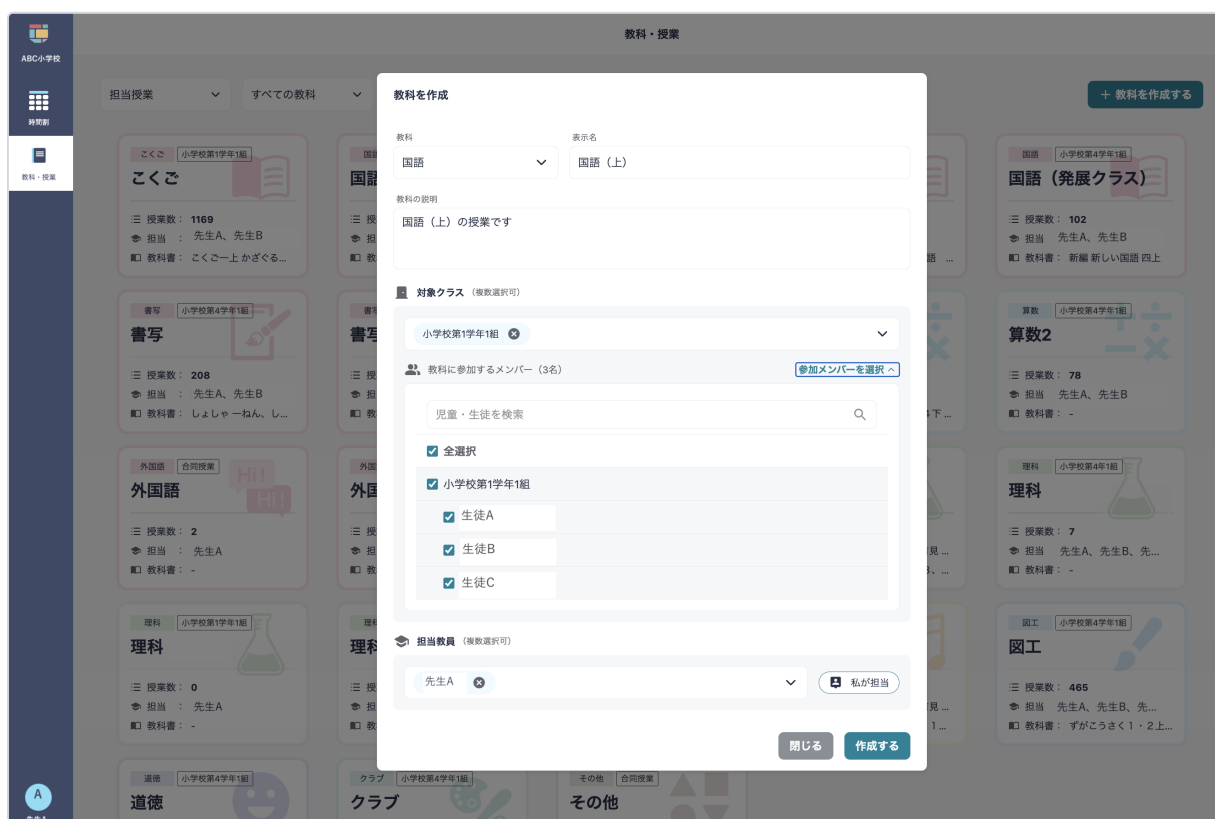
年度更新後、システムへ初回アクセスすると、各クラスに対して「国語」「算数」などの標準的な教科が自動的に作成（プリセット）されます。

自動作成の処理中は「ローディング（初期設定中）」画面が表示されます。学校全体のデータを作成するため数分かかる場合がありますので、完了するまでお待ちください。

完了後、[教科・授業]メニューを開き、自動作成された教科のカードが並んでいることを確認します。

ステップ3：特別な教科の作成と教科書の設定

習熟度別クラスなど、自動作成された標準教科以外に独自の教科が必要な場合は追加作成して初期設定を完了させます。



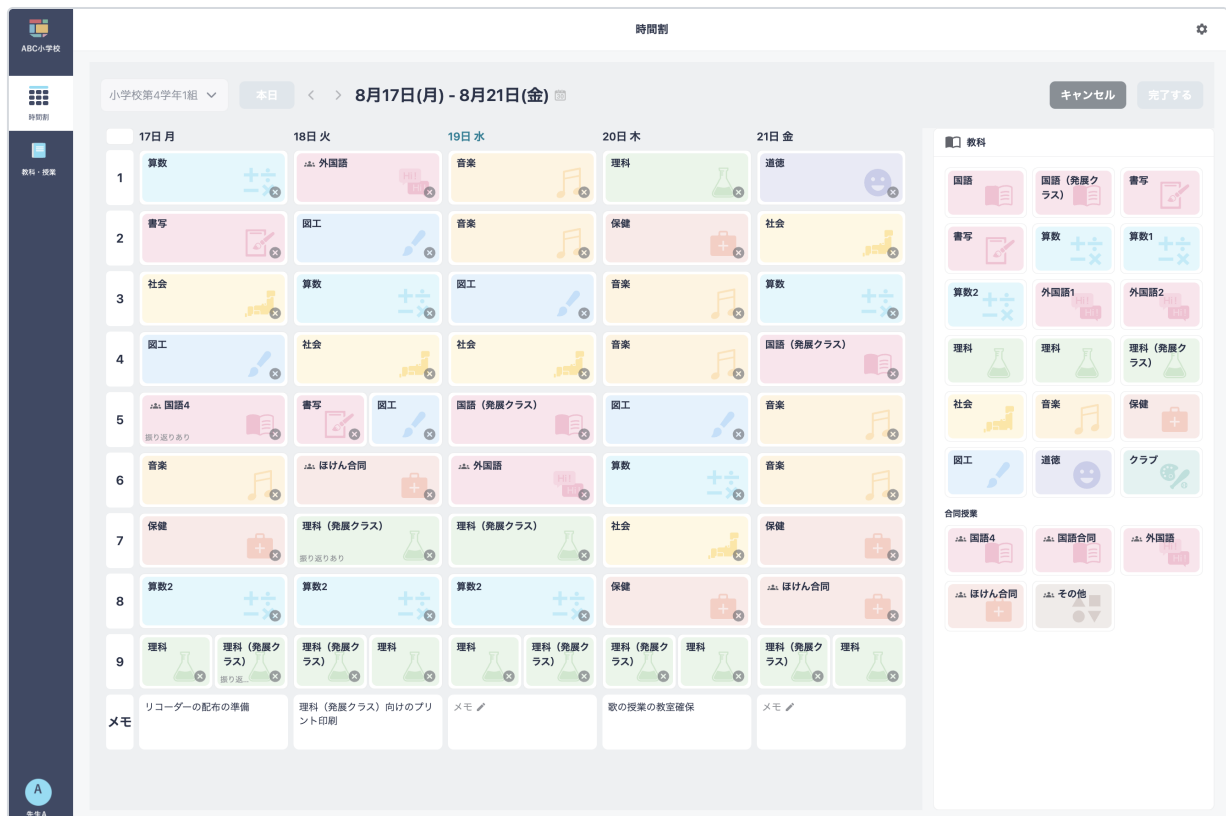
1. [教科・授業]メニューの右上[+ 教科を作成する]を押します。
2. 教科名や対象クラス、担当教員を入力します。
3. 作成した教科を開き、「教科書設定」で利用する教科書を選択すると、その教科書に合わせた「単位」と「標準的な授業回数」がシステムに自動で取り込まれ、一つずつ単位を作る手間が省けます。

シナリオ1：期間ごとの授業を計画する

学校管理者 および 代表の教職員、または各教職員が、時間割に「教科」を割り当て、スケジュールを組みます。

ステップ1：1週間分の時間割を組む

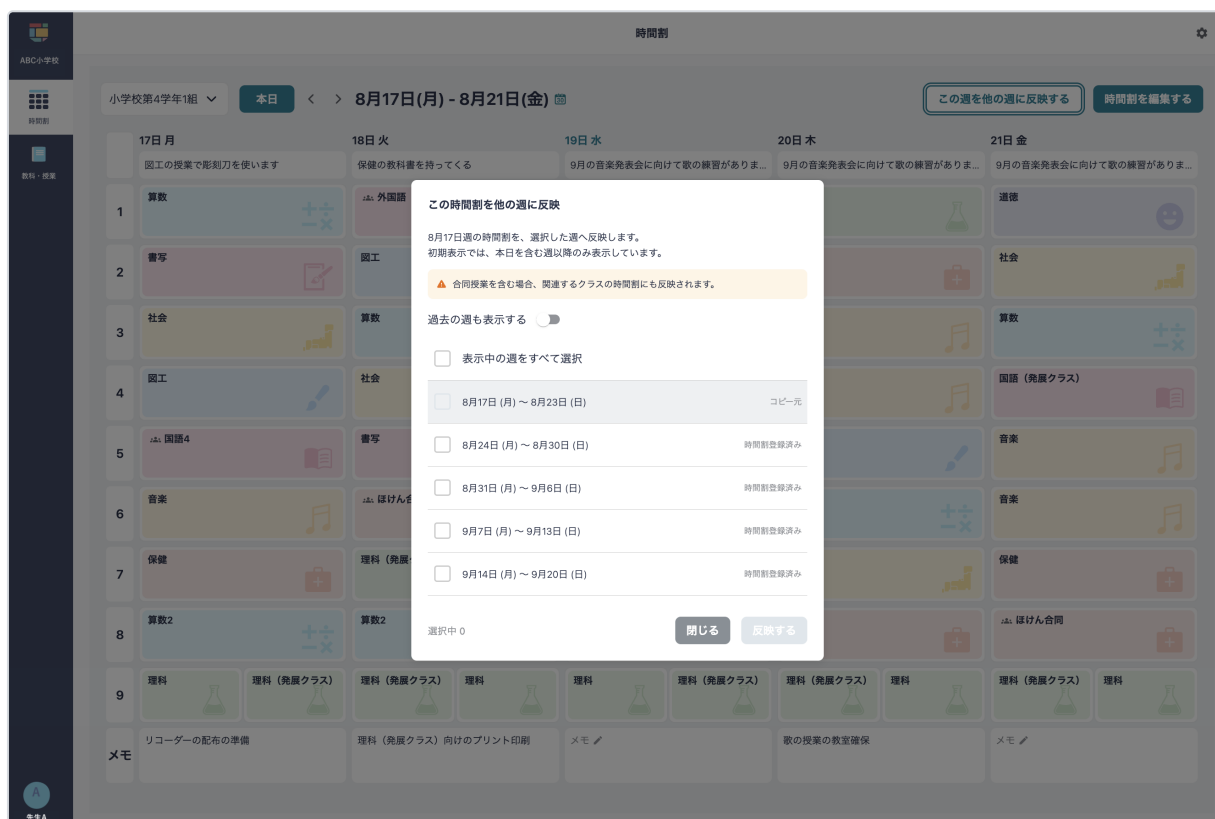
The screenshot displays a digital timetable planning tool. At the top, it identifies the user as 'ABC小学校' (ABC Elementary School) and the target group as '小学校第4学年1組' (4th Grade, 1st Class). The main area is a grid for the week of August 17th (Monday) to August 21st (Friday). Each day's column contains a list of time slots (1-9) and a 'メモ' (Memo) row. The slots are filled with colored boxes representing different subjects: Math (算数), Japanese (国語), English (外国語), Music (音楽), Physical Education (保健), and Social Studies (社会). Some slots are marked as '発展クラス' (Advanced Class). The interface includes a sidebar with icons for ' timetable' and 'subject management', and a top navigation bar with buttons for 'reflect to other weeks' and 'save schedule'.



1. [時間割] メニューを開き、対象のクラスを選択します。
2. 画面右上の [時間割を編集する] をクリックします。
3. 画面右側に「教科リスト」が表示されるので、配置したい教科をマウスでつかんで、目的の曜日のコマへドラッグ&ドロップします。
4. 配置が終わったら、必ず [完了する] を押して保存します。

ステップ2：作った時間割を翌週以降へコピーする

毎週同じように時間割を設定するのは大変です。「週のコピー」機能を使えば、一度作った時間割を未来の週に一括で反映できます。



1. 時間割画面の右上にある[時間割を他の週に反映する]をクリックします。
2. コピー先の週にチェックを入れて[反映する]を押します。

上書きに注意！

コピー先の週にすでに授業が登録されていた場合、古い情報はすべて削除されて新しい時間割で上書きされます。

ステップ3：授業に割り当てる単元を調整する

時間割画面で配置した授業に対して割り当てられた単元を確認し、授業計画に沿って適切に割り当てられるように調整します。

1. [教科・授業]メニューを開き、対象の教科・授業を選択します。
2. 授業一覧にて、日付と学習内容が適切に割り当てられていることを確認します。
3. 必要に応じて、[授業を追加する]または[下に授業を追加]をクリックして授業を追加するか、[授業を削除]をクリックして授業を削除することで、学習内容と日付が適切な組み合わせとなるよう調整してください。

シナリオ2：授業の準備をする

時間割に教科が配置できたら、日々の授業の進度に合わせて順番を調整したり、明日の授業で使う資料や目標を登録します。

ステップ1：日々の授業の詳細を設定する

国語

国語 小学校第3学年5組

教科を編集する

国語

光村 こくこ一上 かざぐるま × 光村 こくこ二下 たんぽぽ × 光村 こくこ二下 赤とんぼ × 光村 国語二上 わかば × 光村 国語三下 あおぞら × 光村 国語四上 かがやき × 光村 国語四下 はばたき × 光村 国語五 鯉河 × 光村 国語六 創造 × + 教科書を追加する

参加数：13名が参加中 担当：先生A

授業一覧 授業数 1169

No.	学習内容	振り返り状況	日付 ①
#1	はるが きた 第1期/全2期	-/- - - -	-月-日-限
#2	はるが きた 第2期/全2期	-/- - - -	-月-日-限
#3	おはなし ききたいな - さあ はじめよう 第1期/全2期	-/- - - -	-月-日-限
#4	おはなし ききたいな - さあ はじめよう 第2期/全2期	-/- - - -	-月-日-限
#5	なんて いおうかな 第1期/全2期	-/- - - -	-月-日-限
#6	なんて いおうかな 第2期/全2期	-/- - - -	-月-日-限
#7	かくこと たのしいな 第1期/全1期	-/- - - -	-月-日-限
#8	どうぞ よろしく 第1期/全3期	-/- - - -	-月-日-限
#9	どうぞ よろしく	-/- - - -	-月-日-限

+ 授業を追加する

1. 教科カードをクリックして「授業一覧」を開きます。
2. 進度に合わせて、授業の行をドラッグして順番を入れ替えることができます。
3. 対象の授業をクリックすると、画面右側に詳細画面（サイドパネル）が開きます。

サイドパネルでの「授業内容」登録

理科（発展クラス）

2026年8月17日（月） | 9限

小学生第4学年1組(4名) 理科 担当: 先生A

1. 春の生き物

授業一覧 授業数 17

No.	学習内容
#4	4. 電気のはたらき 第1回(全1回)
#5	夏の生き物 第1回(全1回)
#6	夏の夜空 第1回(全1回)
#7	5. 月や星 第1回(全1回)
#8	6. とじこめた空気や水 第1回(全1回)
#9	7. ヒトの体のつくりと運動 第1回(全1回)
#10	秋の生き物 第1回(全1回)
#11	8. ものの温度と体積 第1回(全1回)
#12	冬の夜空 第1回(全1回)
#13	冬の生き物 第1回(全1回)
#14	9. もののあたまり方 第1回(全1回)
#15	10. 水のすがた 第1回(全1回)
#16	11. 水のゆくえ 第1回(全1回)
#17	生き物の1年間 第1回(全1回)

目標

春の生き物について種類や生態について学ぼう

メモ

授業に関する補足メモを残せます。
発展授業ではプリントを毎回配布します

資料

授業で使う資料を追加できます。
春の生き物の例一覧
資料を追加する

サイドパネルの「授業内容」タブでは、以下の情報を登録できます。ここで登録した内容は、児童生徒の画面にも表示され、授業の見通しを持たせることができます。

- **目標**：その日の授業のめあてを入力します。
- **メモ**：授業の流れや補足事項を記載できます。
- **資料（URL）**：授業で使うデジタルコンテンツや参考リンクのURLを登録できます。

サイドパネルの「振り返り」タブでは、以下の情報を登録できます。

- **写真**：授業や児童生徒の振り返りで使用する写真を登録・共有できます。共有範囲は「参加者全員」「先生のみ」「非公開」のいずれかから選択することができます。

ワンポイント：授業で使う写真を事前にアップロードする

授業中に、児童生徒へ共有したい写真をその都度アップロードするのは大変です。共有範囲を「先生のみ」にして事前にアップロードしておけば、児童生徒へ共有したいタイミングで共有範囲を「参加者全員」に変更するだけですぐに共有が可能です。

シナリオ3：授業の振り返りを行う

日々の授業が終わったら、児童生徒が入力した「毎回の授業の振り返り」を確認し、フィードバックを行います。



ステップ1：児童生徒の振り返りを確認する

1. 時間割のコマ、または授業一覧から、終わった授業をクリックしてサイドパネルを開きます。
2. [振り返り] タブに切り替えます。
3. クラス全員の「わかった／できた」「楽しかった」の自己評価とアップロードされた写真、振り返りコメントが一覧で表示されます。

ステップ2：フィードバックする

提出された振り返りに対して、先生からコメントやスタンプを送ることができます。

- ・**コメントを返す**：児童生徒のコメント欄から直接、励ましやアドバイスのコメントを入力します。
- ・**スタンプで反応する**：コメントを書く時間がない場合でも、スタンプを送ることで「先生がちゃんと見ているよ」というサインを伝えることができます。

【重要】振り返りが入った授業は削除できません

一人でも振り返りを提出した授業は、学習記録を守るため削除ボタンが押せなくなります。授業の順番がズレた場合は、削除せずにドラッグで移動させて調整してください。

シナリオ4：単元の振り返りを行う

単元（学習のひと区切り）が終わるタイミングで、これまでの学びを総括する「単元振り返り」を行います。

ステップ1：単元の目標を設定・提示する

1. うたっておどって なかよくなるう

1. うたっておどって なかよくなるう

目標 ※生徒に共有されます。

歌って踊ることの楽しさを学び、友達と踊る楽しさを知りましょう。

単元振り返り

振り返り済 0名

振り返り未完了 13名

生徒A 生徒B 生徒C 生徒D

詳細を見る

1. サイドパネルの右上にある【単元振り返り】のリンクをクリックし、クラス全体の単元振り返り画面を開きます。
2. 画面上部の【+ 単元の目標を設定する】を押し、「この単元で何を身につけてほしかったか」を入力します。この目標は児童生徒が振り返りを書く際の指標になります。

ステップ2：クラス全体の提出状況を確認する

画面に「振り返り済」「未完了」の人数と、児童生徒のカードが並びます。まだ提出していない生徒をフィルタで絞り込み、個別に声かけを行うことができます。

ステップ3：AIの解説を参考に個別フィードバックを行う

児童生徒のカードをクリックすると、個人の詳細画面が開きます。

6月の形と太陽・1月の形の見え方

生徒A

振り返り済

生徒A

5月の形と太陽・1月の形の見え方

理科 小学校第4学年1組 (40名) 2026年4月1日～4月7日 (全5時)

これまでの学習

授業ごとの振り返りを見る

第1回 4月1日 水

第2回 4月2日 木

第3回 4月3日 金

第4回 4月6日 月

第5回 4月7日 火

単元全体を振り返って

月の満ち欠けの仕組み、新月や満月や上弦・下弦の月などの種類があることを知りました。また、季節によって見える月が違ってくることを学びました。

AIからのコメント

月の形が変わることについて学習してきましたね。太陽の向きと月の形の関係に着目しながら、新月や満月、上弦の月、下弦の月など、月の種類があることに気づくことができました。また、季節によって見える月が違ってくることも学びましたね。これからの観察では、ビルや山にさえぎられている月など、実際に見つけるのがむずかしい月の形について、どんなふうに見てみたいと思いますか？

AI解説

利用データについて

データの解説方法・AIコメントの説明

指導におけるヒント

気づきを深めよう

学校に天体望遠鏡があるので、友達と観察したいです。

先生からのコメント

先生A

16時間前

集注して授業に取り組みました。よくがんばりました。

先生A

16時間前

いできました

1. **これまでの推移を見る**：画面上部のカードや、「授業ごとの振り返りを見る」のグラフから、この単元内で理解度がどう変化したかを把握します。
2. **AIの解説を読む**：児童生徒が提出した振り返りに対して、AIが先生向けの「解説」を自動生成しています。AIが着目した学習状況や、アドバイスの切り口が表示されるため、フィードバックの参考にします。
3. **コメントを送る**：画面下部から、AIの解説や日々の推移を踏まえた総合的なコメントを送ります。
4. 画面上部の[< 前の生徒] [次の生徒 >]を押せば、一覧に戻ることなく次々と全員分の確認とフィードバックを進められます。

ワンポイント：まとめてコメントを送る

クラス全体画面から、送信先にチェックを入れて一括で同じコメント（「よくがんばりましたね」等）を送信することも可能です。

The screenshot displays a classroom management interface. At the top, there's a header with navigation links and a title '1. うたっておどってなかよくなるう'. Below this, a section titled '1. うたっておどってなかよくなるう' is visible, with a sub-header '音楽' and a note '小学校第3学年3組 (13名) (全1時)'. A '目標' (Goal) section follows, stating '歌って踊ることの楽しさを学び、友達と踊る楽しさを知ろう。'. The main area is titled '単元の振り返り' (Unit Review) and shows a list of students: '生徒A', '生徒B', and '生徒D'. Each student has a '詳細を見る' (View Details) link. A modal dialog box titled 'まとめてコメント' (Batch Comment) is open in the center. It contains a text input field with the placeholder 'コメントを入力してください' and a character count '1000文字以内'. Below the input field, there are checkboxes for '送信先' (Destination): '振り取り済' (Already distributed) and '振り取り未完了' (Not yet distributed). The '振り取り済' checkbox is checked. At the bottom of the dialog are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '送信する' (Send).